

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の取り扱いが十分か、職員間で確認している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1	3	求められていることに対して、十分なことができていないのかは判断が難しい。	お子様の環境がより良いものとなるよう、訪問先施設との信頼関係の構築に努めていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	マニュアルの策定は出来ている。全てのマニュアルに対しての想定した訓練は実施できていない。	年間計画は立てているが、訪問支援を優先している為、実施できないこともある。実施形態に工夫する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	必要な訓練や研修を今後も立案し実施したい。	安全管理が十分された環境下で支援が行えるよう、必要な研修や訓練を行っていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	2	マニュアルは策定されているが、事例が今のところない。	ケース会議から職員の認識を把握したり、他事業所の事例検討を聞きながら対応できるようにしていく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		年間計画で研修の機会を設けている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	2	身体拘束を行う対象児童生徒がいない。部会などに参加し他事業所の事例検討を共有させてもらう。	ケース会議から訪問先でのお子様の行動を共有し、職員の危機管理の認識の把握をし、保護者様との話し合いの中で身体拘束の決定を行う。

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的なモニタリングを実施し、場合によっては見直しを早めに行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		担当者会議には、担当者が参画している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		訪問先でお子様が入りやすい工夫を提案できるよう関係機関と情報の共有を行っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		移行期の際は、支援内容などが共有できるよう訪問先施設と日程調整を行い、相互理解に努めている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4		児童精神科の先生の研修に参加した。	今後、外部研修や内部研修に参加し、それぞれの質の向上に努める。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		4	今年度は1度参加した。	午前中の訪問が多く、部会に参加することが難しかったが、機会を見て参加していきたい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		職員間で、常にお子様の置かれている状況や課題について話している。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	研修の機会を設けたり、情報提供を行うことはできていなかった。	家族支援の中で、参加できる研修やそれに応じた情報提供ができるよう努める。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		今年度は、大きな報酬改定がありそれに伴い利用負担に関わる料金表の作成をし、説明した。もう少し、丁寧な説明が必要だった。	契約時などでは、より丁寧に分かりやすい言葉での説明を心がける。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		主に管理者が説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		保護者様だけでなく、お子様のニーズや気持ちを取り入れるよう心掛けている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4		保育所等訪問支援計画を示しながら、支援内容の説明を行っている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者様と日程を決めて相談できる機会を設けている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	保護者様同士やきょうだい同士で交流する機会を設けることはできていない。	今後、自事業所でできることを検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		相談の申し入れには柔軟に対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		4	定期的な通信などの発行や発信はできていない。	今後、自事業所でできることを検討していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の取り扱いが十分か、職員間で確認している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		家庭環境やご本人の状態に応じて、言葉遣いを慎重にし、場合によっては言葉以外のツールを使ってやり取りを行っている。	
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	1	十分ではないかもしれないが、その時にできる援助を行っている。その時に出来ない場合は、次の訪問時に伝えられるよう職員で検討する。	一人の職員で抱えずチームで検討できるような体制をとっているが、より良い体制を整えていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		訪問先施設にご迷惑にならないよう心掛けている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4		ご家族様と日程調整をした上で報告をしている。報告の方法は、ご家族様に選択していただいている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年1月31日				
保育所等訪問支援さぼーとみなみ(さぼみな)						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 設備・ 運営・ 体制	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3	1	お子様を取り入れやすいもの(キャラクター等)をご本人に確認したり、いくつかの教具からご本人が選択できるよう、オーダーメイドで作成することもある。	こちらの自己満足や押し付けにならないよう訪問先施設やご家族、ご本人と確認したり振り返りを行い、評価までしっかり行う必要がある。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		訪問支援員の見立てが偏らないよう、複数での支援も行っている。	訪問先施設への配慮も心がけ、環境にマイナスの影響がないよう確認する。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	その都度、改善点を管理者に伝えている。	業務内容の進捗状況の確認、改善点を挙げる、それを確実に職員で共有し実行できるようにする。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者評価は今年度初めて行った。研修などの情報提供ができていない。	情報は入ってきているものだけでなく、個別のニーズに応じて提供できるようネットワークを広げる。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎月、機会が設けられている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者による外部評価を現在行っていない。	今後検討する。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		毎月研修を行っている。	外部の研修を、積極的に受けていく。
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		事業所のアセスメントシートを使っている。使用している中で、項目の追加などし様式をアップデートしている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員で原案作成会議を行っている。みんなで集まらない日は、後日共有できるようにしている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		評価も先生と行う場合があるが、原案作成会議を事業所で行った後、訪問先の先生と共有しご意見を伺うようにしている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		月に一度、ケース会議を行い計画に沿った支援の確認を行っている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		インフォーマルなアセスメントも活用している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4		研修で、保育所等訪問支援ガイドの読み合わせを行っている。	定期的にガイドラインを確認する機会を設ける。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		月に一度、ケース会議を行い計画に沿った支援の確認を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援前には、どのような視点をもって訪問に入るのかを打ち合わせし、役割分担の確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		当日振り返りが職員間で共有できなくても、1週間以内には全員が共有できるようにしている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		訪問先の先生の方針を共有させていただき、お子様の学びやすい環境と一緒に検討できるよう訪問支援を行っている。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		毎回の支援の記録を徹底している。		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
保育所等訪問支援さばーとみなみ(さばみな)		令和7年1月31日				
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6			分かりやすいですし、こちらがしている支援を肯定して下さるので支援を頑張りたいと思います。	コーチング・マネジメントの視点で関わらせていただけたらと思います。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6			専門的な視点からお話をしていただけるのがありがたいです。	今後も支援内容の共有や評価を訪問先と共有します。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	6			話しやすい雰囲気、質問しやすいです。	引き続き職員がスキルアップできるよう研鑽し、適切に対応できるよう努めます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	2		困りごとが出てきたので、今後もご助言いただけると幸いです。	訪問先とご無理のない時間で会議をし計画内容を共有し支援していきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5	1		相談できる窓口があまりないので、いつも心強いです。保護者の方の思いも伝えてくださるのでありがたいです。	適切な支援が提供できるよう努めます。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援員の方が児童や保護者に優しく接して、信頼関係を築いていらっしゃるのので、訪問支援員の方に相談すると色々なことが分かって助かっています。</li> <li>・いつもありがとうございます。</li> </ul>				訪問先と迅速に情報共有できるよう改善点を挙げ、今後の訪問支援に活かしていきます。また、今後お子様にとって過ごしやすい環境となるよう、保護者様や訪問先との情報共有を行い、場合によっては多職種でチームとなり支援が提供できるよう努めます。		

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	保育所等訪問支援さほみな（さほみな）		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 22名	(回答者数) 7名	
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数) 4名	
○訪問先施設評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 12月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 18施設	(回答数) 6施設	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	相談支援専門員との連携が密に取れることから、多角的な視点から評価や検討ができる。	事業所内で相談支援専門員との情報共有や関係機関との支援内容の検討ができる。	今度も実践と振り返りを行いながら、より良い環境で様々な経験が積めるよう研修を積んだり、事例検討を行い支援に繋げていく。
2	訪問支援員に支援を必要とする子供を持つ保護者が在籍しているので、保護者様の立場や心情を汲み取ることや助言ができる。	保護者様の思いを汲み取り、お子様の支援状況に応じた評価や支援内容を具体的なものにする。	保護者様にも保護者会や必要な情報提供（勉強会等）など積極的にやっていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所にPT・OT・STが配置されていない。	今後、支援の幅が広がるよう専門職の人材を育成していきたい。	積極的に研修を受けて、スキルアップに努める。
2			
3			

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7			いつも肯定的言葉で共感的にお話しただけなので安心して支援を受けられます。業務的な対応ではなく一緒にかわいがってくれているという気持ちを抱けるくらいに支援して下さっていると感じています。	お子様の課題に向き合われる保護者様の姿に、いつも感服しております。今後もお子様の輝く一面をお伝えさせていただきながら、どんな工夫があれば生活しやすいのかを一緒に考えていけたらと思います。	
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1		こちらからの相談にも迅速、丁寧に対応していただき安心です。	連絡が遅れてしまわないよう、改善に向けた取り組みができるよう検討します。	
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7			学校での様子を細かく伝えているので親の目が届かないところをしっかり確認することができます。	どんな伝達がよいのか、選択肢を提示しています。	
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6		1		訪問先施設からの相談に応じた助言や支援内容は、報告させていただいていますが、今後も保護者様に十分伝わるよう意識し改善していきます。	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	7					今後も話し合った内容を保護者様にお伝えできるよう努めます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	7					訪問後の情報共有が今後も適切に行えるよう努めます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。			7		HPだけでなく、なるべくSNSを活用していきます。	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7				今後も個人情報の取扱いに十分に留意していきます。	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4		3		より確実に対応できるよう検討します。	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4		3		安全を確保できることを念頭に支援を行っています。	
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	7				お子様の状況に応じて、適切な距離感で支援できるよう努めます。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	7				今後をご意見をいただきながら訪問支援の質を向上できるよう努めます。	

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援さぼーとみなみ(さぼみな)

公表日 令和7年1月31日
利用児童数 25人
令和6年12月27日 回収数 7

Table with columns: 項目・体制整備, 適切な支援の提供, 保護, チェック項目, はい, どちらともいえない, いいえ, わからない, ご意見, ご意見を踏まえた対応. Rows 1-16.